

地域の汗とひまわりの大輪が不法投棄の盾となる...

市原市議会議員 ますも誠二



ひまつぶし
ますも誠二 月刊広報誌
Vol.86

そんな逸話がある弁天池ですが、昭和40年代の高度成長と並行して、団地の開発や住宅が次々と建ち始め、生活排水や雨水を調整する池として姿を変え現在



市原市大厩にある弁天池はその昔、大蛇が住んでいたと言われていました。その大蛇に遭遇すると村人が次々に不慮の事故や原因不明の病で亡くなったそうです。その後、村人により祠を建立し弁天様を丁寧に祀りしたところ、それ以降災いがなくなりました。

弁天池を管理する下水道管理課に相談し、理解を得て大規模な草刈りを行いました。そして多くの方からアジサイの挿し木を頂きそこに

考えに考えた末、「花で埋め尽くしたらどうか」というところに行き着きました。その根拠は、人間の心理の活用でした。「乱れている場所には、ゴミが集まり、きれいな場所にはゴミは捨てない」という人間の心理がある研究で明らかになってきたからです。

今では広大な敷地にうっそうと雑草が生い茂り、ボロボロの祠に村人の災いを収めた弁天様が寂しそうに佇んでいます。かつて不法投棄の名所と言われるほどゴミが放置され、環境面、防犯面で地域の大きな問題となっていました。行政を交え、何度も草刈りをして美化を奨めてきましたが、残念ながら状況が変わる事はありませんでした。



市原市議会議員 ますも誠二

加藤商事(加藤博社長)様からは、誰もが水やり作業ができるよう、大型タンクを設置して頂きました。また、穴だらけの弁天様の祠については「**弁天様の祠を建立する会**」を立ち上げ、多くの皆様

の力で新たに建立する事が決まりました。弁天池の美化活動は地域の環境改善だけでなく、希薄化している地域のコミュニティの再構築につながりました。

移植しました。さらには辰巳台西小学校長 御所脇みどり先生のご理解とご協力のもと、小学生にひまわりの種500鉢植えてもらい、それを弁天池に移植するという子供と地域が連携しての大胆な作業を行い、住民が協力しながら朝夕と水やりを行いました。



私のLINEのQRコードです。
市原の課題、ご意見をお聞かせ下さい。
今日動きます！
携帯電話(080-1213-7679)

皆様がこの記事を読む頃、弁天池にはひまわりが大輪を咲かせているはずですが、どうか、地域ので咲かせたひまわりとゴミが激減した弁天池を見て頂き、これからも後世につながる地域の名所づくりを皆さんと一緒にしていきたいと思えます。



散歩する人が増え、コミュニティの再構築が期待されます。

**命を守るAED BOXを
能満に設置しました!**

今年4月、公約に掲げた医師を搭乗させ救急現場に向かうドクターカーの運用が市内で開始されました。また、千葉労災病院も同じく今年度のドクターカー運用に向け始動しました。

ドクターカーが到着するまでの間、市民によるAED(電気ショック)や胸骨圧迫を継続する事が何より重要です。そこで、市内辰巳通りからAEDの入ったBOXを設置する事にしました。

ドクターカーとは、言ってみてもなく、一刻を争う救急現場において、医師による高度な処置ができる事ですが、心肺停止に陥った場合はどうでしょう、ドクターの到着を待っても、到着までの間、何もしなければ死を待っているのと同じ事です。目の前の倒れた人を救命できるか否かは、正に医師や救急救命士が来るまでの8分間なのです!この8分こそが、その人の運命を変える時間である事を知って下さい。

定期的にAEDの設置を目的としたチャリティーゴルフコンペを市内で開催しました。先月29日に開催されたコンペでは、120人が参加し、辰巳通りの能満「やさしい手」様に設置する事ができました。これからも市民の命を救うため、皆様の地域に積極的に設置していきます。



やさしい手京葉(能満)様のご協力により施設前に設置しました。

**大厩災害支援所を整備し
有事に備えます。**

私の勤務する国際医療福祉専門学校(救急救命士養成校)では、大厩1826-15(旧増茂宅)の社員寮を今年取り壊し、直下型大地震に備えた災害支援所の整備計画をしています。学園理事長である宇野弘願先生と私が考える災害支援所とは、スーパーハウスという移動可能な建物であり、被災地にも運べるという優れたもの。平時は学生の勉強道場、集会所、避難スペース、災害備蓄倉庫や事務所として使用し、有事の際は、大厩地域の緊急避難所として活用します。3日間の食料確保や、発電機の貸し出し、井戸水の提供。また、屋外にはAED BOXや災害用救急処置バッグなどを設置し有事に備えます。7年間使用した大厩ダイヤパレス前の増茂事務所は9月末日を持って閉鎖し、大厩災害支援所に事務所を移転します。

大厩災害支援所を整備し、有事に備えます。平時は学生の勉強道場、集会所、避難スペース、災害備蓄倉庫や事務所として使用し、有事の際は、大厩地域の緊急避難所として活用します。3日間の食料確保や、発電機の貸し出し、井戸水の提供。また、屋外にはAED BOXや災害用救急処置バッグなどを設置し有事に備えます。7年間使用した大厩ダイヤパレス前の増茂事務所は9月末日を持って閉鎖し、大厩災害支援所に事務所を移転します。



備蓄する災害用資機材と救急処置資器材

前橋市社会福祉協議会
辰巳台地域
子ども食堂
だんだん

開催予定日 9月17日(土)
場所 辰巳公民館
時間 16:00~18:00
料金 子ども100円 大人200円

予約制となります
連絡先:090-6031-8494(タルミ)

ますも誠二 プロフィール

氏名 増茂 誠二
生年月日 昭和42年12月1日
職業歴 市原市議会議員(市原市地域保健医療協議会副会長)
国士館大学 防災・救助救急総合研究所 嘱託研究員
学校法人 国際医療福祉専門学校 理事長補佐
杏林大学保健学部非常勤講師
千葉市医師会非常勤講師
資格・学位 救急救命士 危機管理士 修士(救急救命学)
学歴 国士館大学大学院救急救命システム科修士課程卒業
千葉大学大学院環境生命医学博士課程単位取得満期退学
千葉県パワーリフティング協会会長
その他 市原市剣道連盟顧問(剣道教士七段)

ホームページもご覧下さい。
<http://www.masumo-seiji.com> **ますも誠二** 検索

月刊ひまつぶしがメールで毎月届きます!
電子版ご希望の方は
office_masumo@yahoo.co.jpまで、
電子版希望とだけお書き添え下さい。

※その他個人情報等は必要ありません。尚、メールアドレスは厳重に管理し月刊誌の送信以外、一切致しません。